

# 事業計画及び成長可能性に関する説明資料

**GMO** RESEARCH & AI

GMOリサーチ&AI株式会社

STOCK CODE : 3695

2025年3月

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 市場環境
4. 競争優位性
5. 2024年成長戦略の経過
6. 2025年成長戦略
7. リスク情報

2025年5月中旬に予定している第1四半期決算短信の開示に合わせ、GMOタウンWiFi社との経営統合の詳細（業績予想含む）を踏まえ  
※1)  
た事業計画及び成長可能性に関する説明資料の更新開示を予定しております。

※1) 経営統合に関する情報：2025年2月12日開示「当社とGMOタウンWiFi株式会社の経営統合に関するお知らせ」をご参照ください

# 1. 会社概要

---

## 業界最大級のパネルネットワークと技術力を背景に、日本・アジアを中心にグローバルに市場調査・マーケティングで新しい価値を提供する会社

- 設立日 2002年4月1日
- パートナー数\*1 185人
- 世界8拠点\*2で事業展開
- 海外売上比率27%\*3

\*1 2025年1月1日時点 正社員数(連結)

\*2

□GMOリサーチ株式会社

- 【本社】東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアタワー
- 【下関サテライトオフィス】山口県下関市細江町1丁目2-7 住友生命下関ビル
- 【台湾駐在員事務所】台北市南京東路1段86号5F

□連結子会社

- GMO-Z.COM RESEARCH PTE. LTD. (シンガポール)
- GMO Z COM RESEARCH SDN. BHD. (マレーシア)
- 技募驿动市场调查(上海)有限公司(中国)(GMO E-Lab Marketing Research (Shanghai) Co, Ltd.)
- GMO-Z.COM RESEARCH PVT. LTD. (インド)
- GMO-Z.COM RESEARCH USA, INC. (米国)

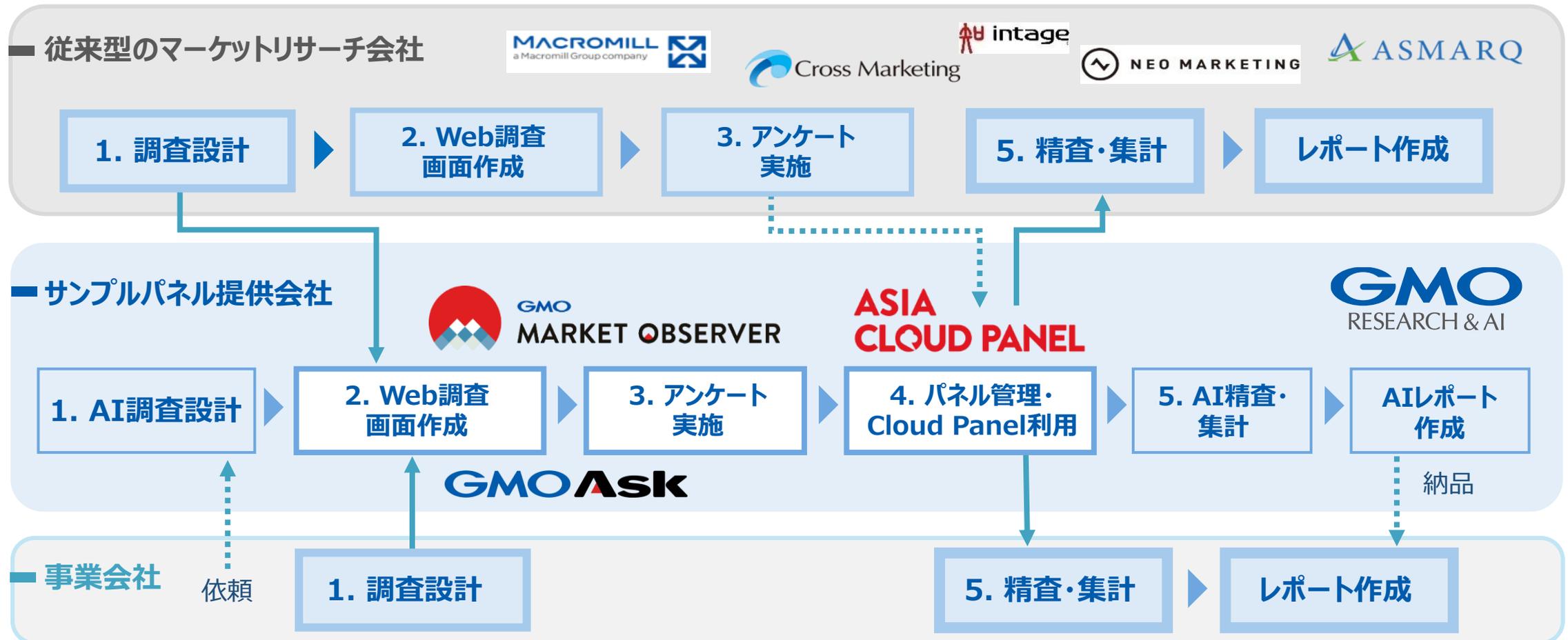
\*3 2024年12月期



## 2. 事業内容

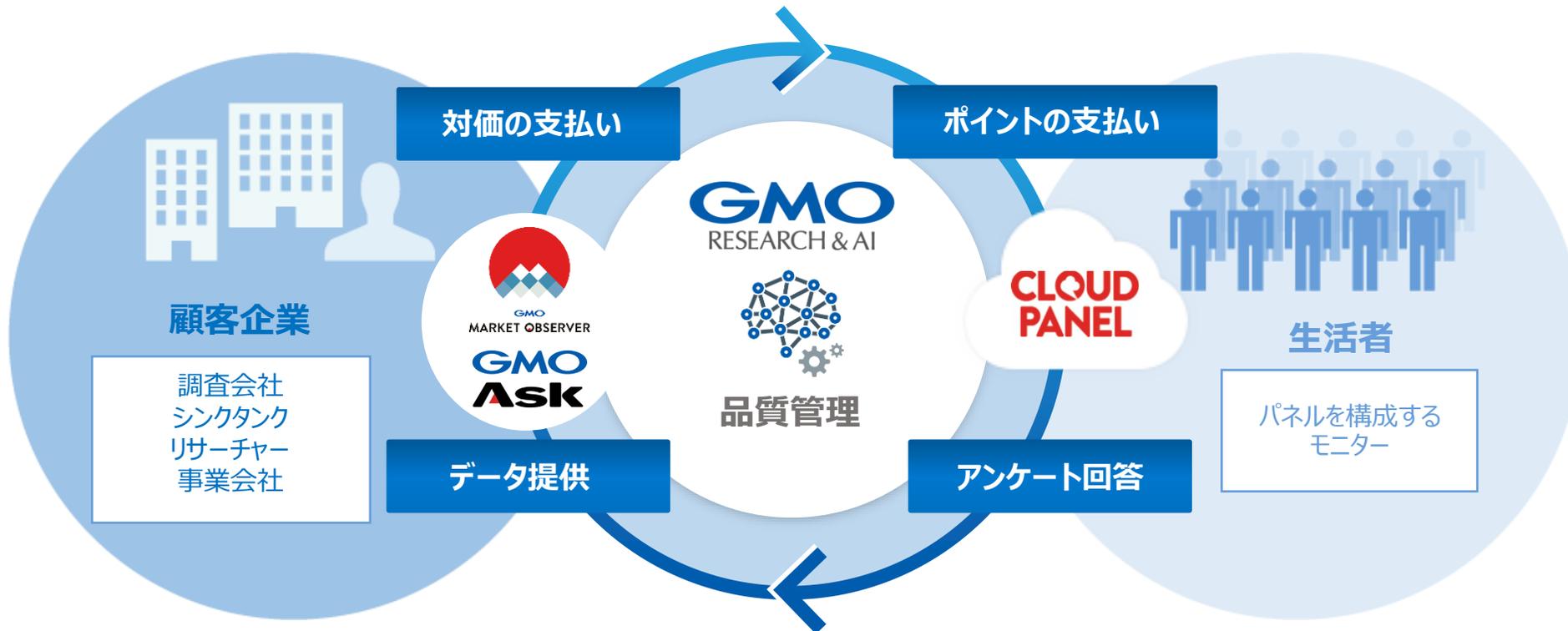
---

業界最大規模のパネルネットワーク活用により、高い収益力を実現。さらに、調査会社向けに培ったノウハウと直接を事業会社への提供し、さらなるパネル活用と販売効率化が実現



アンケート調査を行う顧客企業とアンケート調査に回答するモニター(消費者)を繋げるプラットフォームを提供

## Audience Engagement Platform



顧客メリットとして、従来各社ごとに開発されていたインターネットリサーチツールを標準化し、低コストで提供



## 自分でアンケートを作成し配信まで行える完全D.I.Y型アンケートプラットフォーム



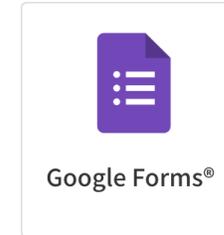
国内TOPクラスの  
アンケートモニター約2,500万人



サンプル提供可能数  
検索機能



「1問×1回答×10円」



Google Forms®



Google Formsまたは  
GMO Ask内で設問作成

⇒ 市場の小型・ライトリサーチ需要の増加に合わせ、手軽なセルフ・サービスプラットフォーム活用へ



### 注目機能Point

✓ AI活用機能「調査票AIサポート (β版)」を搭載

⇒ OpenAIが提供する「ChatGPT API」を活用し、AIが調査票の案を作成することで、ユーザーの作業を補助・効率化する機能

**ポイ活ユーザー会員保有企業（媒体）  
（日本）**

Vポイントモール 初めての方 > POINT

TOPページ > アンケートで貯める

**アンケートで貯める** かんたんアンケートで  
VポイントGET

**アンケートに回答**

アンケートは随時配信。  
毎日チェック！

→

**VポイントをGET!**

Vポイントは自動で付与。  
交換手続き不要で便利♪

→



ここから先はGMOリサーチ&AI株式会社が運営するアンケートサイトへ移動します。  
 「[回答者の皆様△](#)」の内容をよくお読みいただき、ご同意の上ご利用ください。  
 ご利用いただいた場合には、ご同意いただいたものとして取り扱わせていただきます。

[回答者の皆様△](#)

※必ずお読みください

**アンケートを利用する**

出典：Vポイントモール  
[https://t-mall.tsite.jp/research/?scid=enquete\\_top](https://t-mall.tsite.jp/research/?scid=enquete_top)

  
**ASIA**  
**CLOUD PANEL**

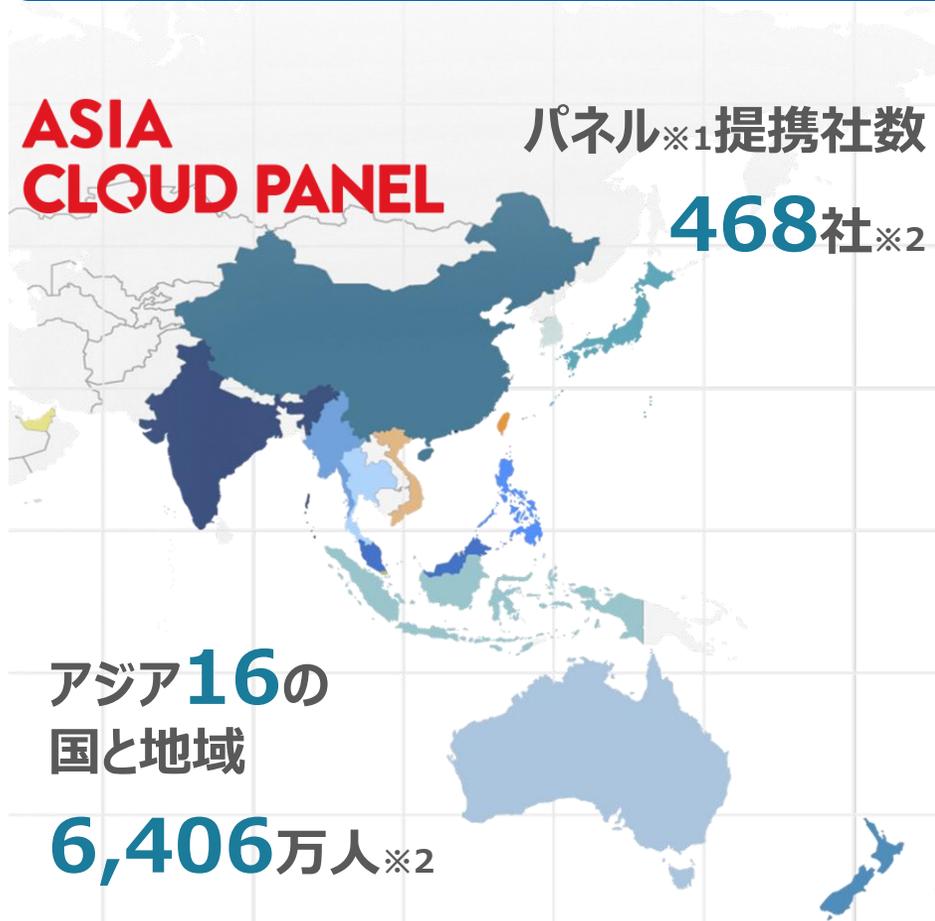
468\*社（媒体）以上へ  
アンケート配信

\*2025年1月現在

Point

- ✓ API経由で**468\*社（媒体）**のポイ活ユーザー会員保有の企業と提携し、それぞれの個人データベースを管理
- ✓ 生活者はポイ活ユーザー会員保有の企業を通じてアンケートに回答することでポイントを獲得

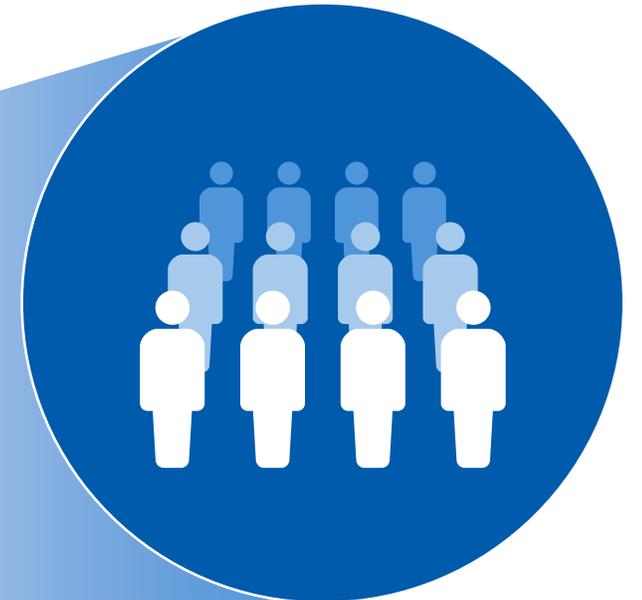
## アジア圏で最も生活者へリーチができるプラットフォーム



2025年1月

6,406万人

2016年12月  
約2,100万人

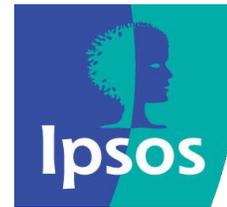


※1 パネル：アンケート協力の承諾を得ている生活者の集合体 ※2 2025年1月現在

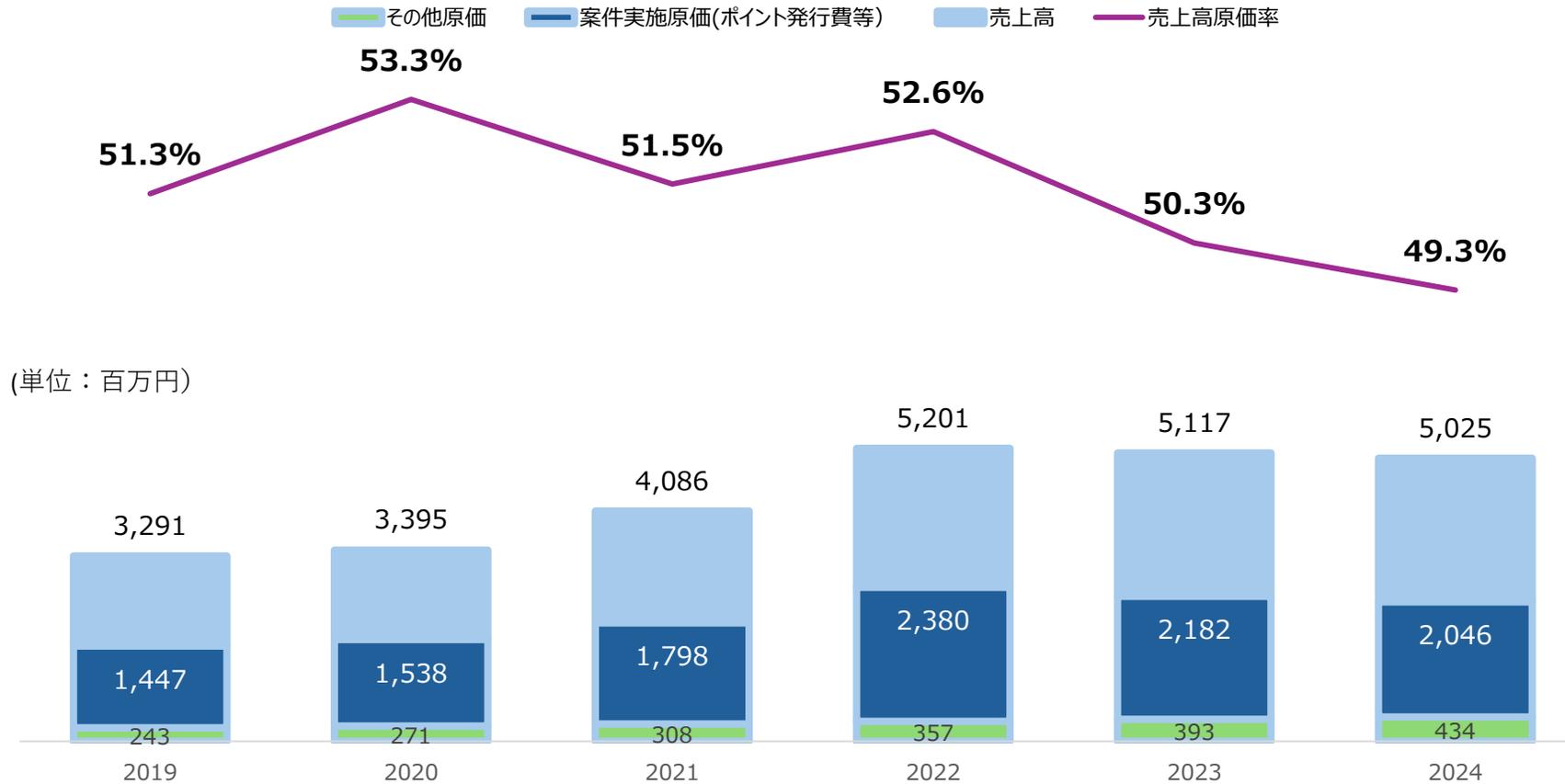
商品構成として、主に国内事業会社向けに「GMO Ask」、国内・海外調査会社向けに「GMO MARKET OBSERVER」を提供



大手調査会社等の調査を専門とする企業を中心に、そのほかリサーチニーズのある一般事業会社様まで、当社サービスを提供



販売先フォーカス変更により原価率が改善し、前年比1ポイント低下の49.3%。



### 3. 市場環境

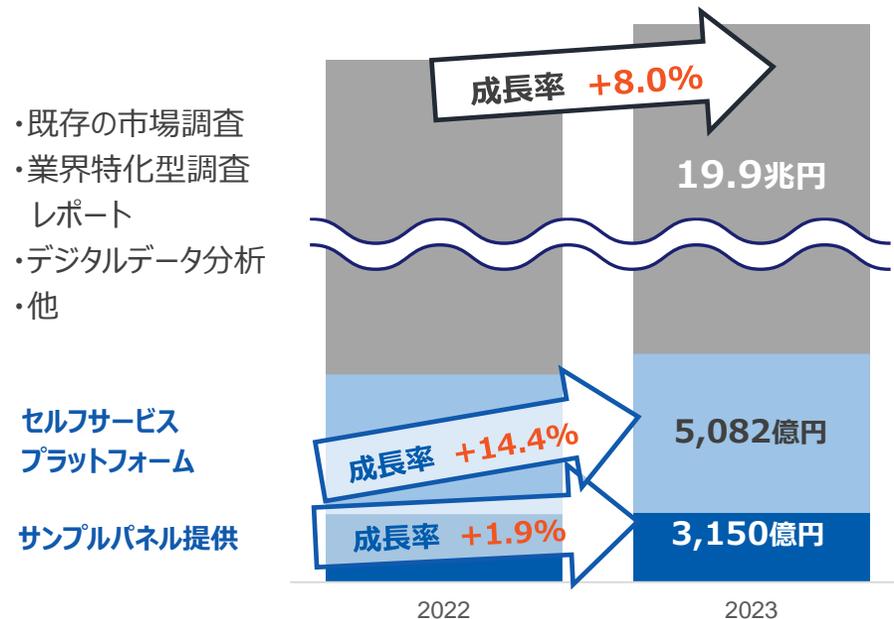
---

当社が注力する世界セルフサービスプラットフォーム市場の成長率は14.4%

国内サンプルパネル提供市場における当社シェアは、日本80%(1位)

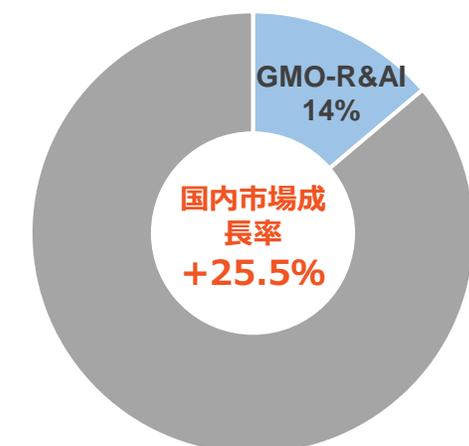
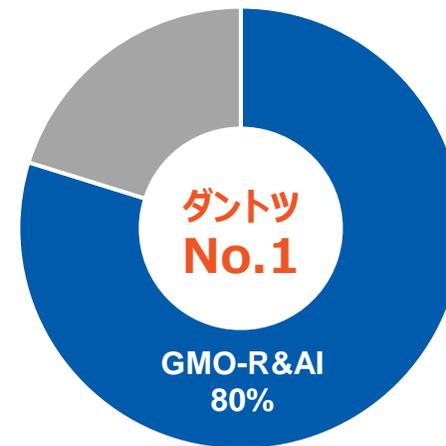
## 世界データ分析・インサイト（従来のリサーチ）市場

## 国内市場



### サンプルパネル提供市場

### セルフサービスプラットフォーム市場



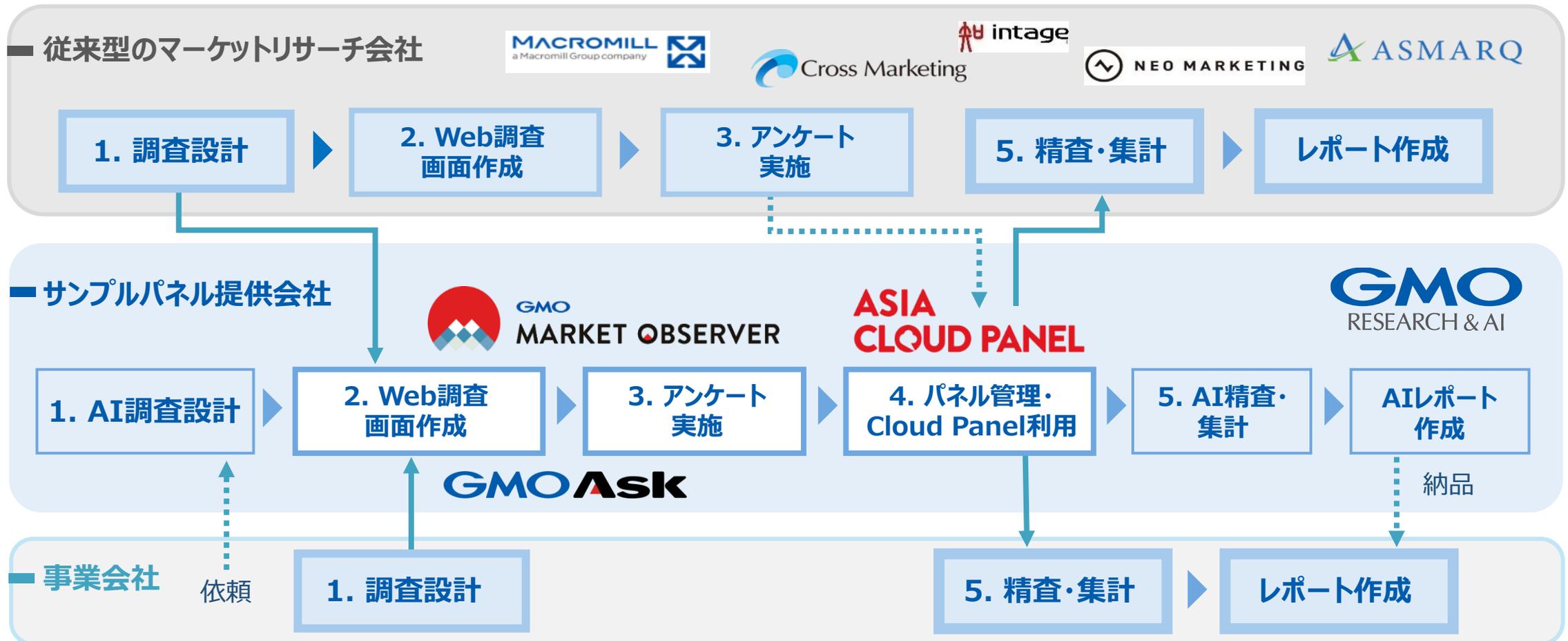
USD/JPY=140円

出所) ESOMAR, Global Market Research 2024, JMRA第49回経営業務実態調査, 当社有価証券報告書

## 4. 競争優位性

---

調査会社にサンプルパネルとシステムを提供する特異なポジション。業界最大規模のパネルネットワーク活用の効率性により、高い収益力が実現。さらに、調査会社向けで培ったパネル提供システムを事業会社への提供で、さらなるパネル活用と販売効率化が実現



独自テクノロジーを駆使し、不正回答を排除することで、高い品質を実現。今後は、さらにAI活用による不正回答排除により、さらに事業の信頼性とコストを改善

### ポイ活ユーザー会員保有企業（媒体） （日本）

Vポイントモール 初めての方へ VPOINT

TOPページ > アンケートで貯める

#### アンケートで貯める かんたんアンケートで VポイントGET

**アンケートに回答**  
アンケートは随時配信。  
毎日チェック！

**VポイントをGET!**  
Vポイントは自動で付与。  
交換手続き不要で便利♪

ここからはGMOリサーチ&AI株式会社が運営するアンケートサイトへ移動します。  
「[回答者の皆様△](#)」の内容をよくお読みいただき、ご同意の上ご利用ください。  
ご利用いただいた場合には、ご同意いただいたものとして取り扱わせていただきます。

[回答者の皆様△](#)  
※必ずお読みください

**アンケートを利用する**

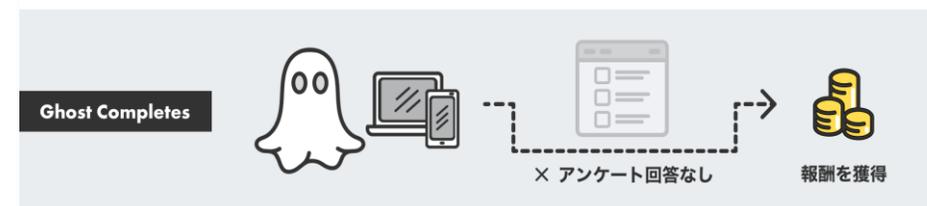
出典：Vポイントモール  
[https://t-mall.tsite.jp/research/?scid=enquete\\_top](https://t-mall.tsite.jp/research/?scid=enquete_top)

ASIA  
CLOUD PANEL

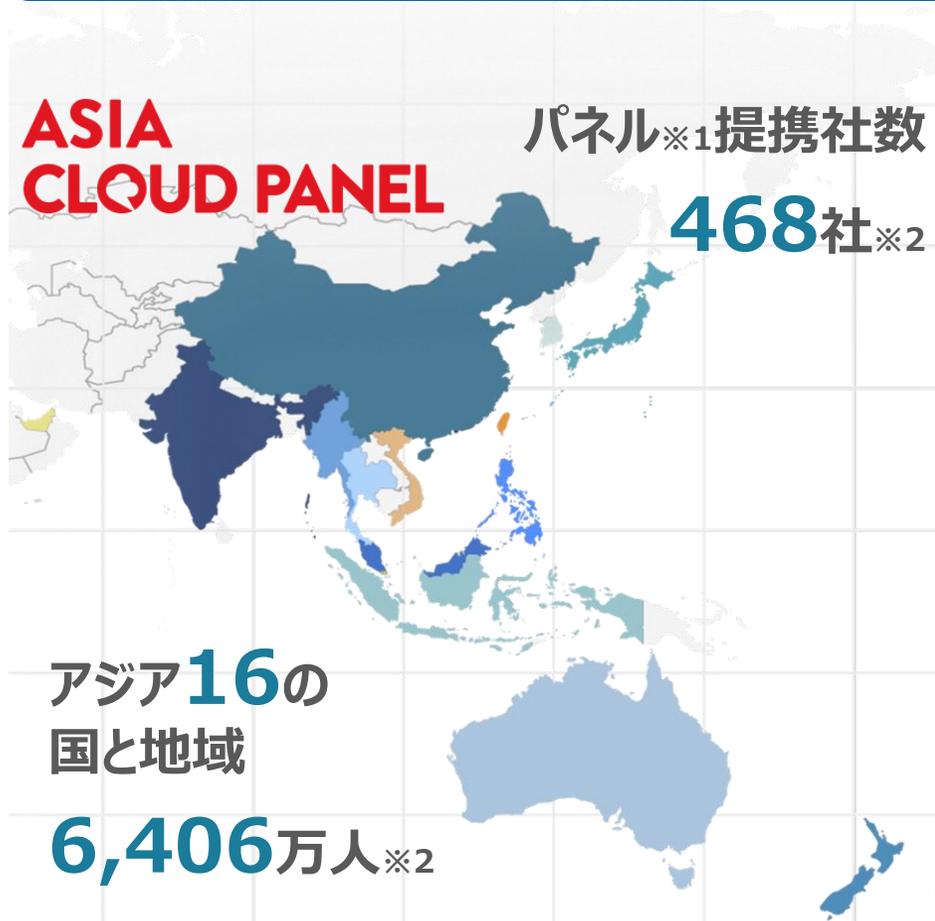
アンケート配信

## 注目機能Point

- ✓ 独自テクノロジーを駆使した品質管理  
⇒ Ghost Completes を搭載
- ✓ 不正回答を排除  
⇒ 事業の信頼性回復 & コスト改善



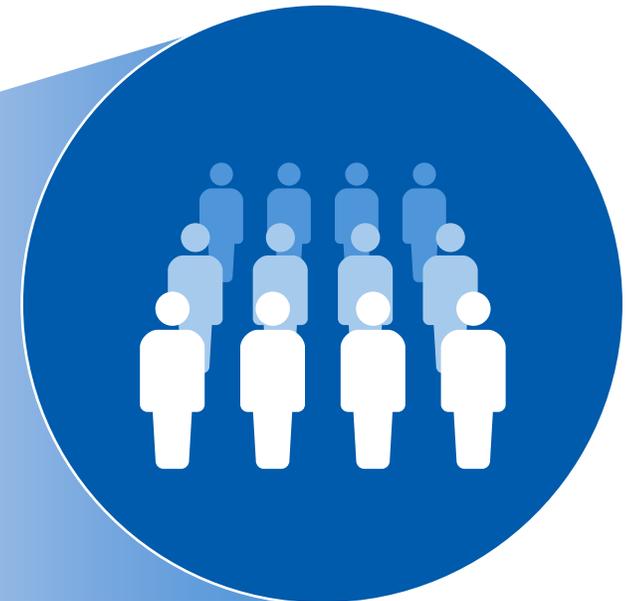
## アジア圏で最も生活者へリーチができるプラットフォーム



2025年1月

6,406万人

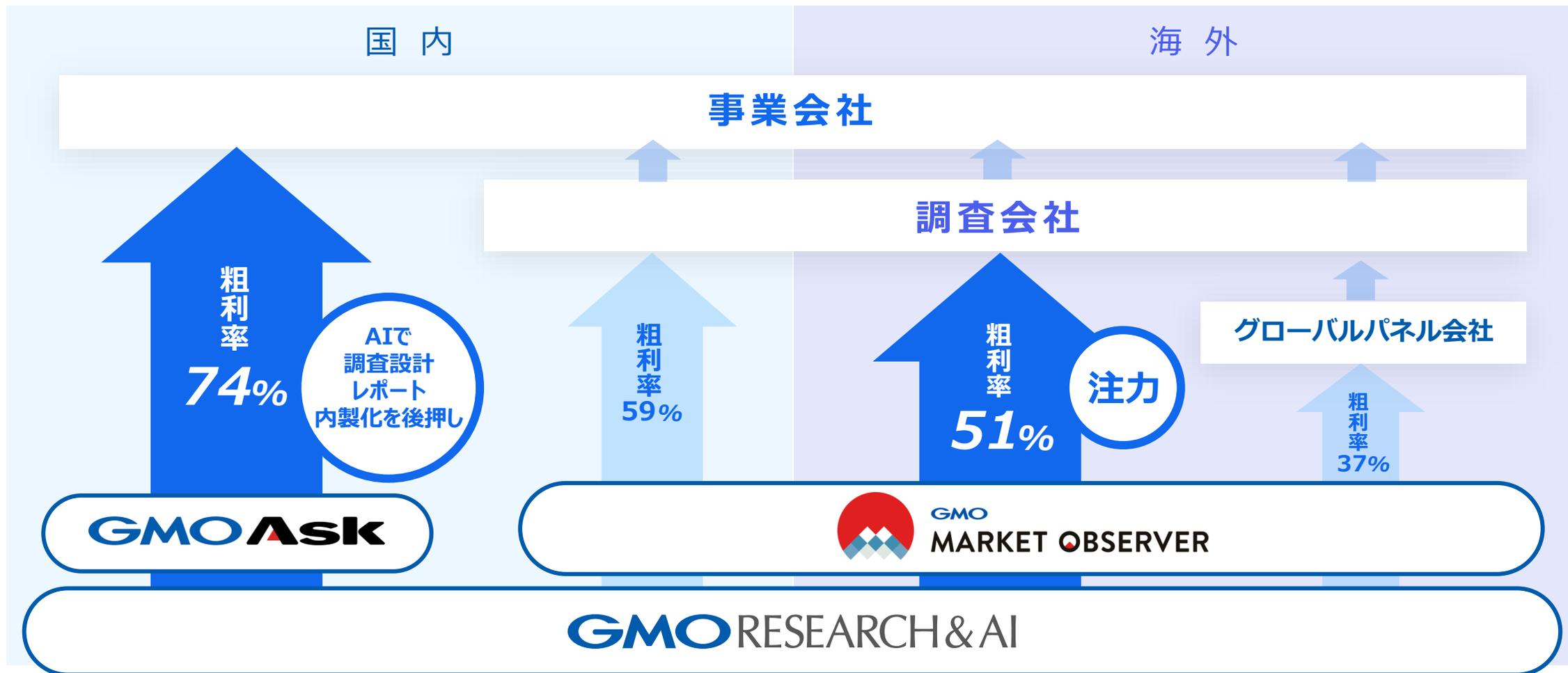
2016年12月  
約2,100万人



## 5. 2024年成長戦略の経過

---

販売先フォーカスを変更。国内は、従来の調査会社向けに加え、事業会社向けを強化、海外は、従来のグローバルパネル会社向けに加え、調査会社向けを強化



| (単位: 百万円) | 2023<br>(1-12月) | 2024<br>(1-12月) | 増減額  | 増減率    |
|-----------|-----------------|-----------------|------|--------|
| 売上高       | 5,117           | <b>5,025</b>    | ▲91  | ▲1.8%  |
| 売上総利益     | 2,542           | <b>2,545</b>    | +3   | +0.1%  |
| 営業利益      | 440             | <b>235</b>      | ▲205 | ▲46.6% |
| 経常利益      | 428             | <b>248</b>      | ▲179 | ▲41.9% |
| 最終利益      | 307             | <b>183</b>      | ▲124 | ▲40.4% |

過去最高  
通期

## Point

事業構造変革推進

その結果

売上総利益

**過去最高**

| (単位：百万円) | 2023<br>(10-12月) | 2024<br>(10-12月) | 増減額 | 増減率    |
|----------|------------------|------------------|-----|--------|
| 売上高      | 1,315            | <b>1,368</b>     | +53 | +4.1%  |
| 売上総利益    | 693              | <b>757</b>       | +64 | +9.3%  |
| 営業利益     | 137              | <b>161</b>       | +24 | +17.6% |
| 経常利益     | 116              | <b>181</b>       | +64 | +55.7% |
| 最終利益     | 90               | <b>124</b>       | +34 | +38.3% |

## Point

営業利益

**過去最高**

**2桁成長**

過去最高  
四半期

(単位：百万円)

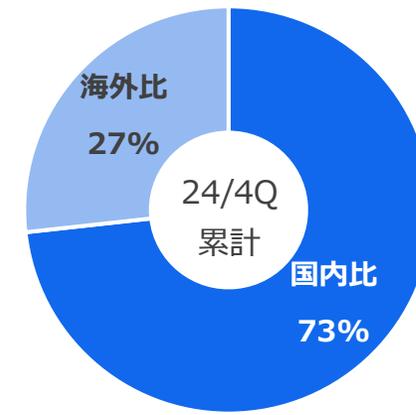
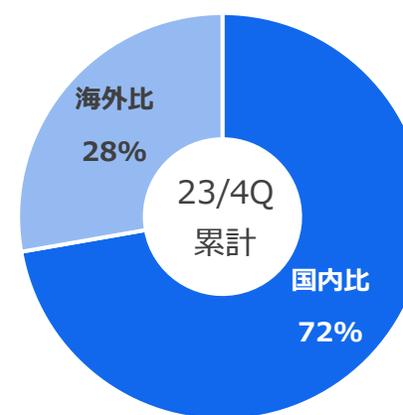
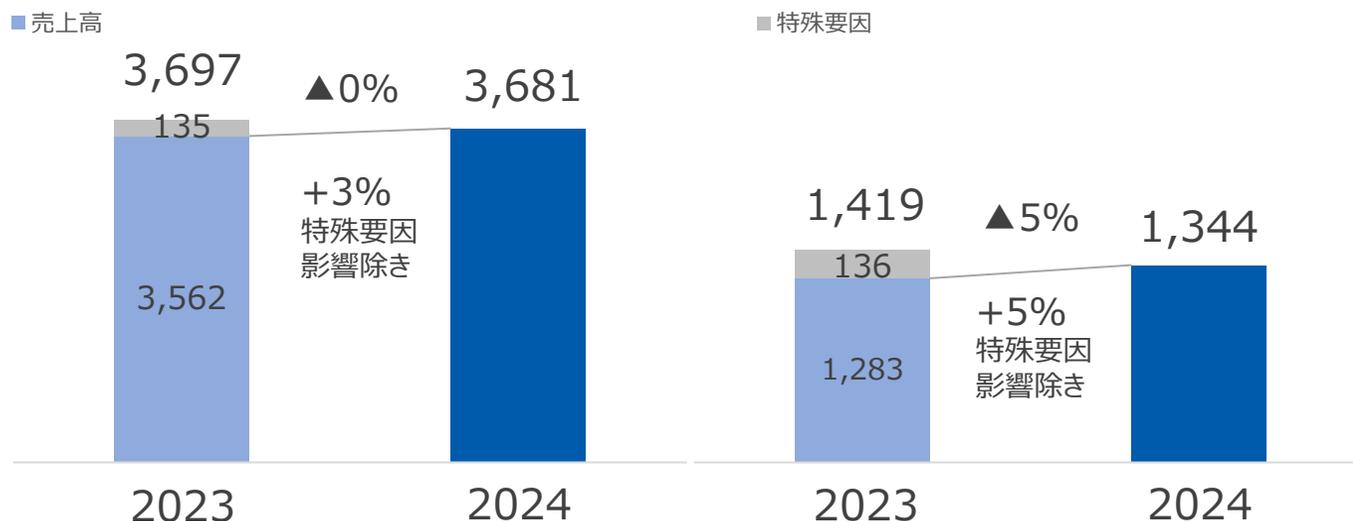
## Point

- ✓ 特殊要因影響除きで、国内は前年比+3%、  
※1)
- ✓ 海外は前年比+5%

### 国内

### 海外

### 売上構成比



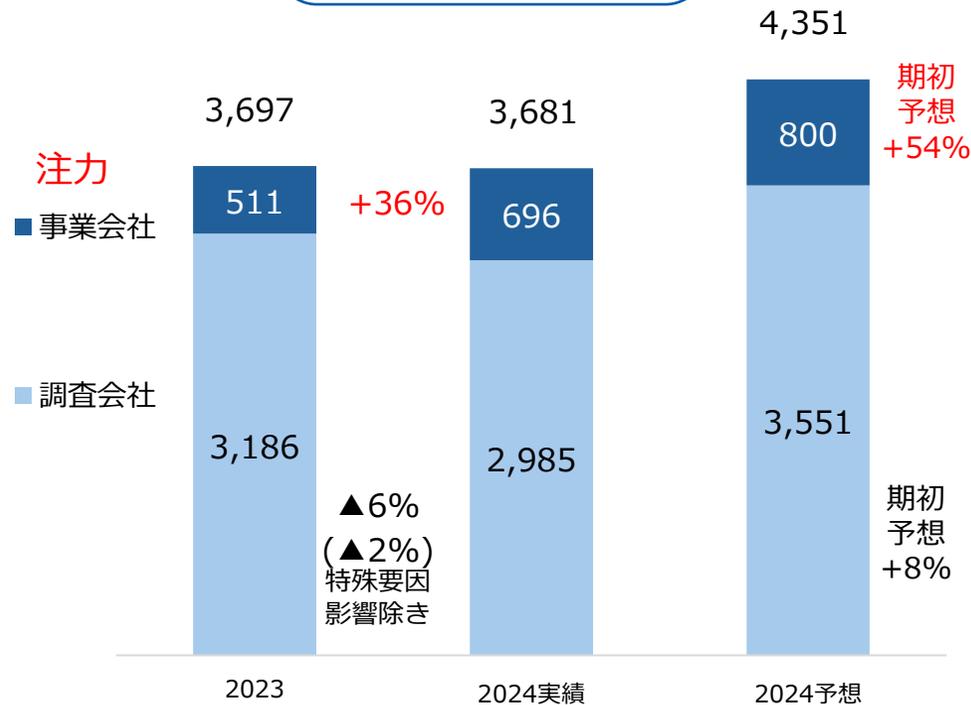
※1) 特殊要因：資本再編など業界全体のトレンド変更による特定大型案件の減少・高原価案件の絞り込み等

(単位：百万円)

Point

✓ 注力した国内事業会社向け売上高+36%成長

国内売上高



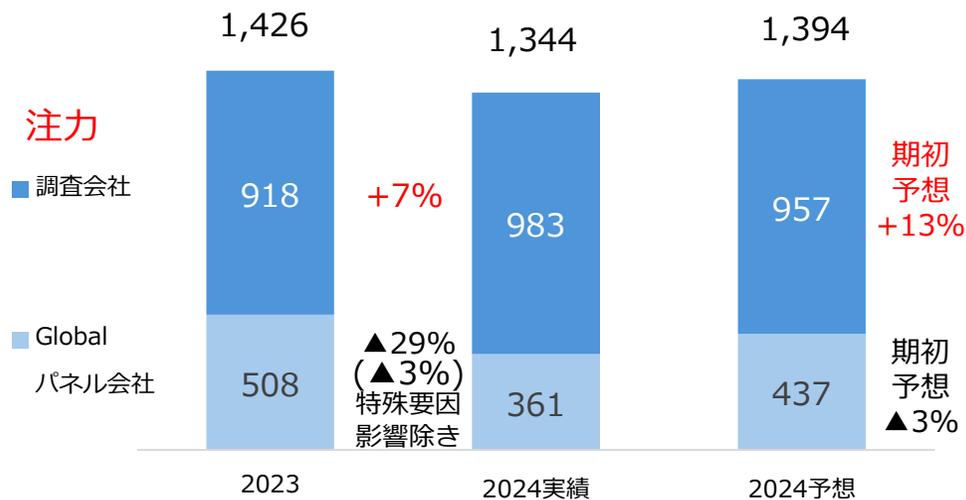
| 成長進捗・結果<br>(%:前年比)        | 詳細・理由  |
|---------------------------|--|
| ・通期実績：+36%<br>(期初予想：+54%) | ・1Q：+57% (期初予想通り)<br>・2Q：+10%<br>・3Q：▲1%<br>2Qと3Qにおいて、社名変更にと<br>もなうドメイン変更による有効リード<br>数減少のため一時的減少。<br>4Q：+53% (期初予想並みに<br>回復) |

(単位：百万円)

Point

✓ 注力した海外調査会社向け売上高+7%、粗利+10%成長

海外売上高



| 成長進捗・結果<br>(%:前年比)                         | 詳細・理由   |
|--|---|
| ・売上高実績: +7%<br>(期初予想: +13%)<br>・粗利実績: +10% | 一部粗利率改善を目的とした定性調査案件絞り込み実施等のため、売上高成長率は+7%に留まったが、粗利は+10%成長。 |

## 6. 2025年成長戦略

---

**GMO** タウンWiFi との経営統合により  
当社プラットフォームを進化させます

生活者の声を届けるプラットフォームを構築

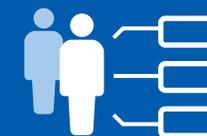
**ASIA  
CLOUD PANEL**

アジア最大規模の  
生活者リーチ

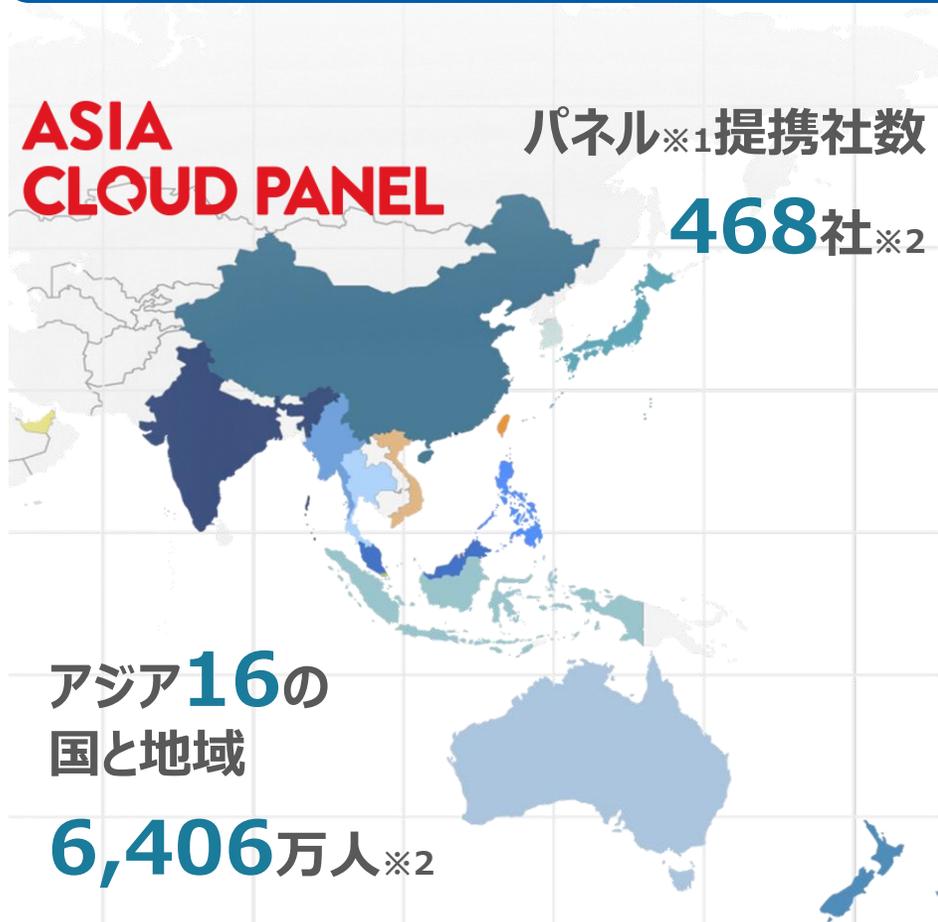


**GMO  
Ask**

生活者と直接繋がる  
DIY調査



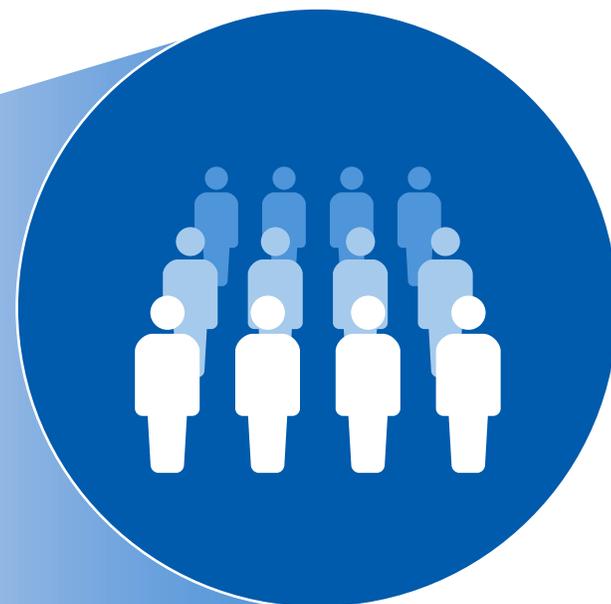
## アジア圏で最も生活者へリーチができるプラットフォーム



2025年1月

6,406万人

2016年12月  
約2,100万人

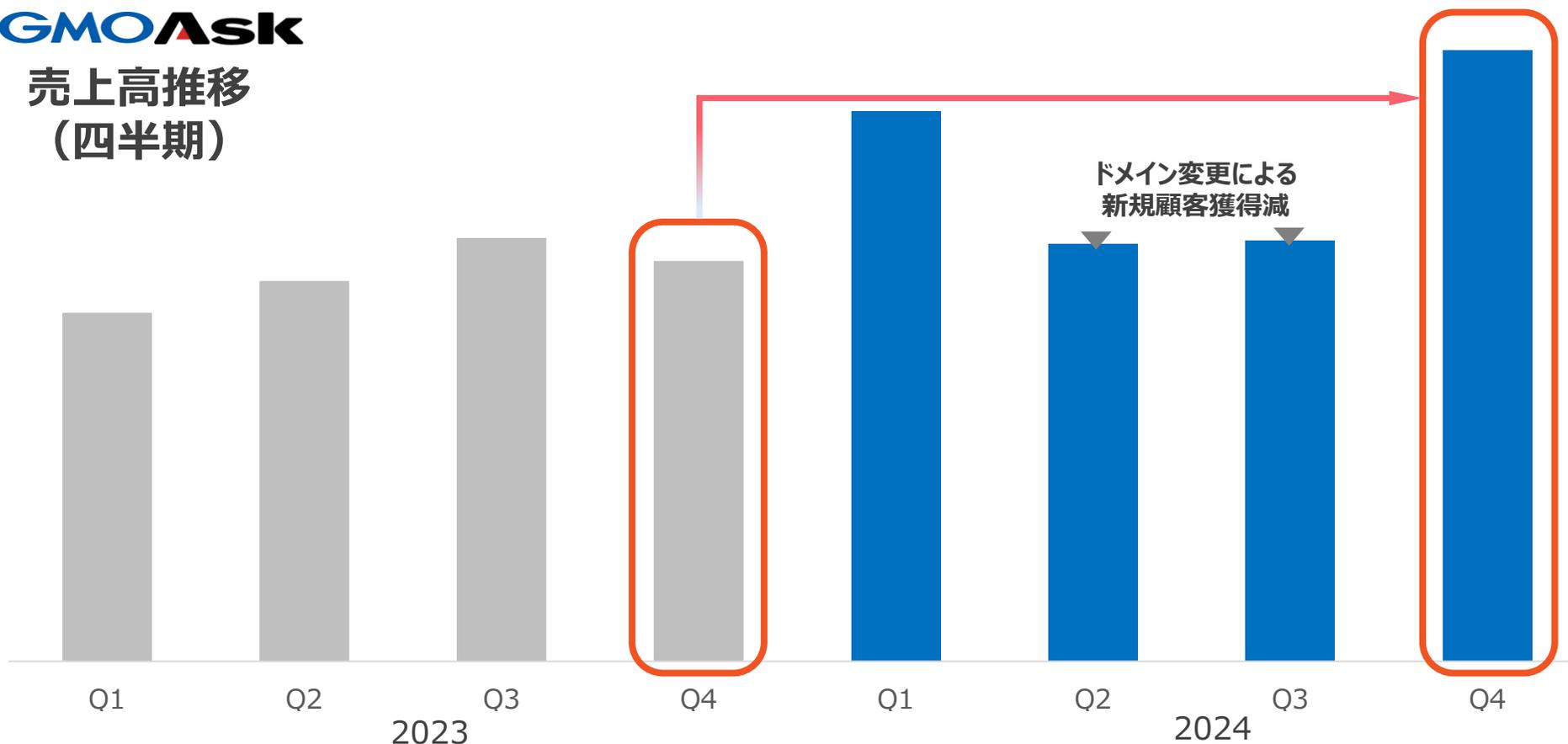


※1 パネル：アンケート協力の承諾を得ている生活者の集合体 ※2 2025年1月現在

## 企業が生活者に直接リーチする仕組みを広めてきた

**GMO Ask**

売上高推移  
(四半期)



23年4Q vs 24年4Q

**53%増**

ドメイン変更による  
新規顧客獲得減

生活者の課題を解決するプラットフォームへ進化

ARPU

ARPU × ユーザー数

最大化

GMO RESEARCH&AI  
生活者の声を届ける  
アンケートプラットフォーム

GMOタウンWiFi  
GMO RESEARCH&AI

ユーザー数

統合後、社名は  
世の中のプロダクトを良くしていく意味を込めて

**GMO** プロダクトプラットフォーム

へと変更予定



# GMO プロダクトプラットフォーム

代表取締役社長

**荻田 剛大**（おぎた たけひろ）

2006年4月

楽天株式会社（現 楽天グループ株式会社）開発部 入社

2015年4月

**株式会社タウンWiFi創業（現 GMOタウンWiFi株式会社）**  
代表取締役（現任）

2019年11月

GMOインターネットグループにグループジョイン

## 生活者のためのプロダクトを提供し続けている会社

### タウンWiFi



フリーWi-Fi  
自動接続アプリ



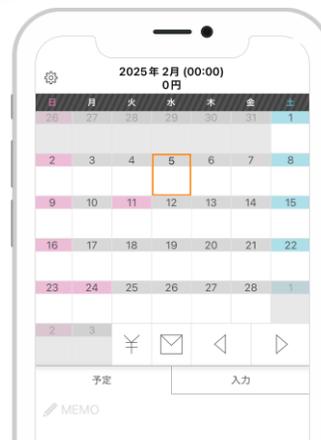
通信料金を削減したいという  
生活者の課題を解決



### シフト手帳



シフト&給料  
管理アプリ



働き方の管理が大変という  
生活者の課題を解決



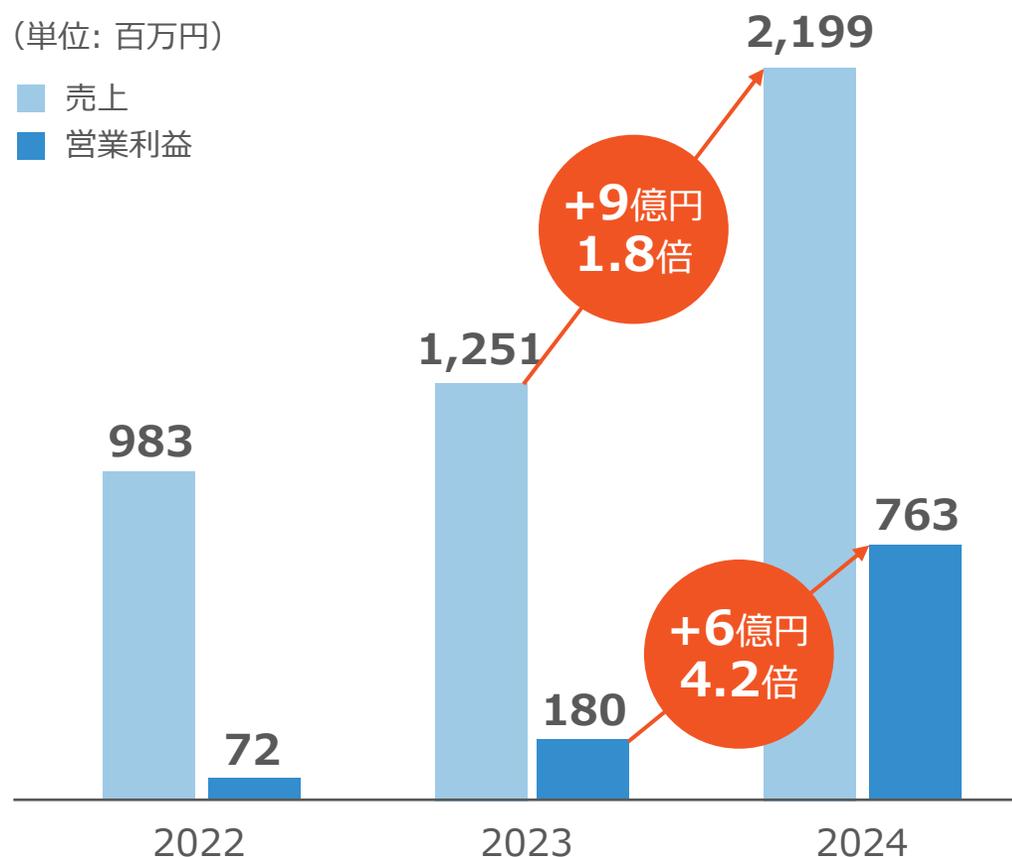
### 今後

今後も生活者の  
課題を解決する  
プロダクトを提供

## その結果、大きな成長を実現

(単位: 百万円)

■ 売上  
■ 営業利益



### 営業利益

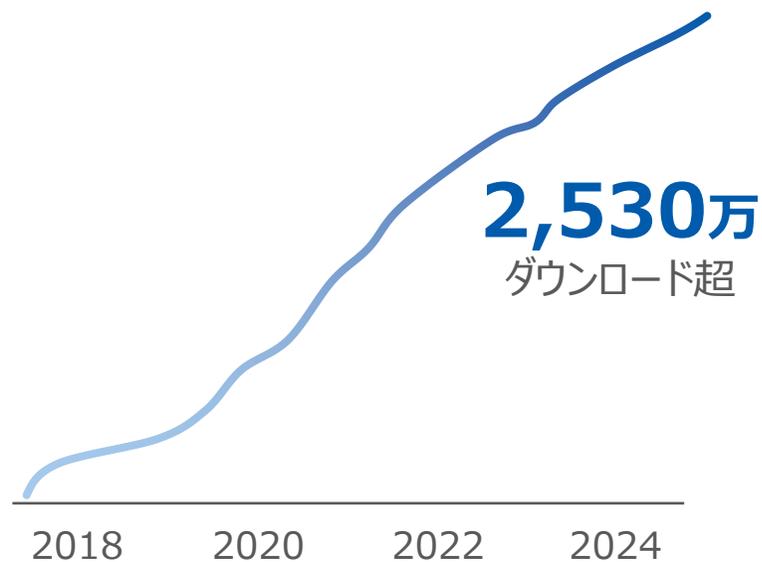
2023年 1.8億円 → 2024年 7.6億円

4.2倍

## プロダクトを良くするプラットフォームを保有

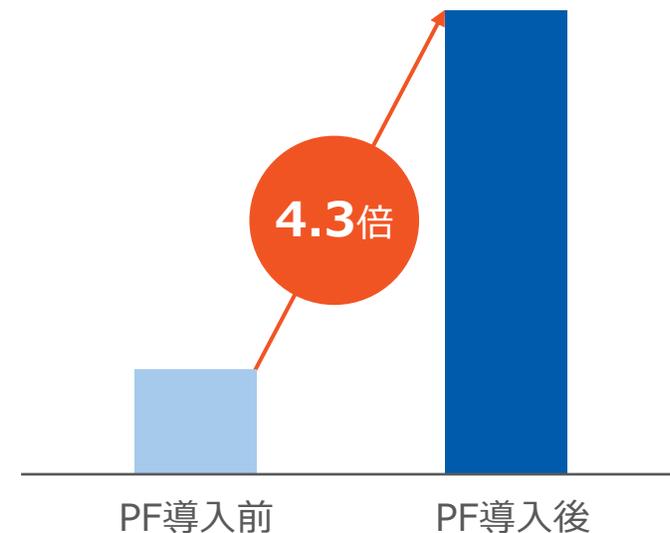
生活者の課題を解決するプロダクトを  
生み出すプラットフォームを保有

累計ダウンロード数

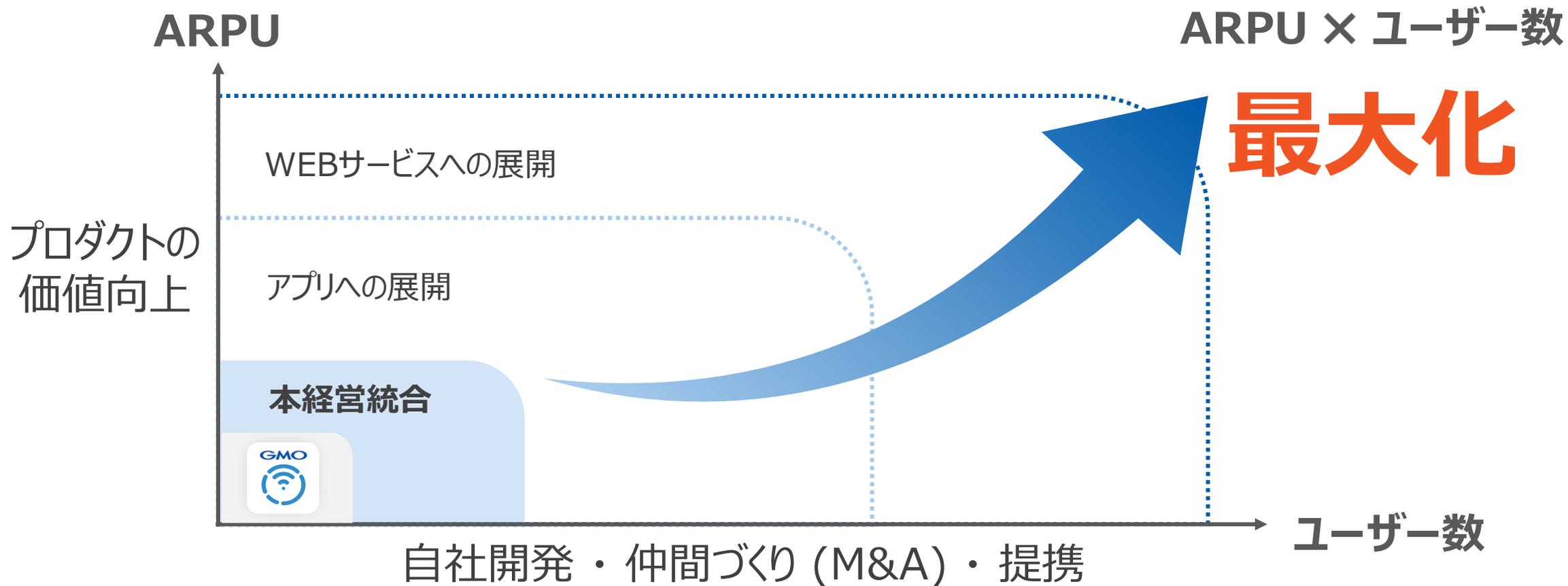


課題解決を実現する  
マネタイズプラットフォームを保有

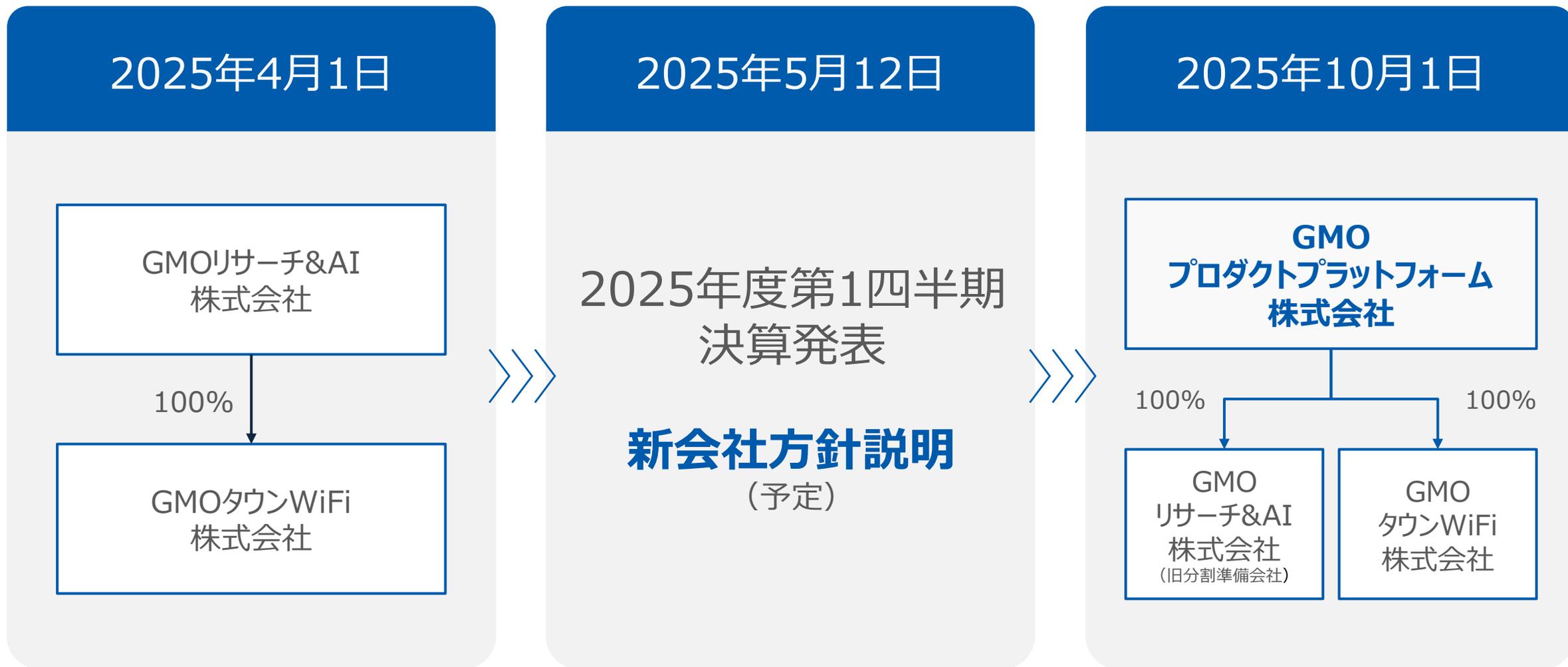
ARPU



## プラットフォームをさらに強化&拡大



※統合後のビジネスモデル変革イメージ (ユーザー数やARPUの縮尺は実態を表すものではありません)



## 7. リスク情報

---

# 主要なリスクに関する情報 (1/2)

当社グループの成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクは以下の通りです

※ 投資者の判断に特に重要と当社グループが考える事項について記載しています。本項の記載内容は当社株式の投資に関するすべてのリスクを網羅しているものではありません。当社グループはこれらのリスクの発生可能性を認識したうえで、発生回避および発生した場合の迅速な対応に努める方針です。本項記載以外のリスクについては、当社グループの有価証券報告書、「第一部【企業情報】」「第2【事業の状況】」「2【事業等のリスク】」をご参照ください。

|       | 発生可能性<br>発生時期 | 成長の実現や事業計画<br>の遂行に与える影響 | リスクの内容と対応策  |
|-------|---------------|-------------------------|---|
| 市場の成長 | 小             | ● 売上成長の鈍化               | インターネットリサーチの市場規模は、従来の調査手法等からの切り替えなどの要因により、順調に成長を継続しておりますが、インターネットリサーチニーズの飽和等の何かしらの要因により、市場規模の成長が鈍化するリスクがあります。当該リスクに対し、当社グループは、インターネットリサーチの普及度がより低く今後のより高い成長が見込まれるアジアを中心とする海外市場でのシェア拡大に取り組んでおります。  |
|       | 常時            |                         |   |
| 競合    | 中             | ● シェアの低下<br>● 販売単価の下落   | インターネットリサーチ事業において大きな参入障壁がないことにより、他の事業者による新規参入や事業拡大のリスクがあります。当該リスクに対し、当社グループは、アジア最大規模の調査用パネルであるアジアクラウドパネルを構築するとともに、パネルシステムの提供に特化することで、競合企業に対する独自性と差別化および優位性の構築を行っております。当社グループは、競争力の源泉であるアジアクラウドパネルのさらなる強化とパネル提供システムの改良に努めることで、当社グループの独自性と優位性の強化に取り組んでおります。 |
|       | 常時            |                         |   |

(続く)

# 主要なリスクに関する情報 (2/2)

(続き)

|                      | 発生可能性<br>発生時期 | 成長の実現や事業計画<br>の遂行に与える影響 | リスクの内容と対応策  |
|----------------------|---------------|-------------------------|---|
| 特定業界・顧客<br>への集中      | 中<br>常時       | ● 売上高の減少                | 当社グループの売上高の多くは、調査会社への売上となっております。当社グループは、当社のプラットフォームの信頼性や安全性の強化、提供サービスの多様化を図り、顧客基盤を拡大することで、特定業界・顧客への集中リスクの低減に努めております。  |
| ネット調査用パネルの<br>回収力と品質 | 低<br>常時       | ● 売上高の減少<br>● 仕入単価上昇    | 当社グループのネット調査用パネル（アジアクラウドパネル）は、自社運営パネルと複数の提携パネルによって構築されております。何らかの事情により、提携パネルの利用が困難になると、回答回収力が低下する可能性があります。また、調査用パネルの回答品質について、何らかの理由により回答品質を確保できないと追加調査等により追加原価が発生するリスクがあります。当社グループは、既存のクラウドパネルパートナーとの関係強化や新規のクラウドパネルパートナーの開拓に取り組むとともに、回答品質向上のため、品質管理基準に基づく回答品質の確保に取り組んでおります。 |
| 個人情報流出               | 低<br>常時       | ● 損害賠償請求<br>● 社会的信用の失墜  | 当社グループは、自社パネル会員の個人情報やクラウドパネルとして他社から委託を受けたアンケート配信先情報（暗号化されたメールアドレス）を保有しており、それらの情報が流出するリスクがあります。当該リスクに対し、当社グループは、情報セキュリティに関する規程の策定、情報セキュリティに関する研修・教育の実施等のほか、ISMSの認証取得やプライバシーマークの取得等の取り組みを行っております。詳細について次頁を参照ください。   |

個人情報や情報セキュリティに関するリスクに関して、それらを保護するためのセキュリティ及びプライバシー・個人情報保護等への取り組みを行っております

## セキュリティの安全性

### ■ 認証

外部からの脅威に対するリスクアセスメントを実施し、総合的な情報セキュリティを確保するため、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）認証基準の国際規格「ISO/IEC 27001:2022」および国内規格「JIS Q 27001:2023」の認証を取得。



MSA-IS-430



### ■ 脆弱性対応

業界標準のツールによる脆弱性の試験を実施するほか、外部機関による定期的な脆弱性診断を実施。JPCERT等の情報を常に確認し、その影響を考慮した上でパッチ等を適用している。

### ■ アクセス制御

システムやアプリケーションへのアクセスは、許可された人員のみ許可された作業を実施できるよう制限をかけている。

### ■ 通信のセキュリティ

アンケート及びモニター向けサイトはHTTPS（TLS）を利用し、セキュリティを確保しています。ファイアウォール/ロードバランサーにより必要な通信のみを許可している。

## プライバシー・個人情報保護

### ■ 認証

法律への適合性およびより高い保護レベルの個人情報保護マネジメントシステムを確立・運用することを目的としてプライバシーマークを取得。



### ■ パーミッション取得

個人情報を取得するときは、パーミッションをいただく等、法令・規制の要請を踏まえた対応を行っている。

# 想いを、世界に

Engaging people around the world

**GMO** RESEARCH & AI

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。